

対人支援点描 (29)

「権威性の法則と物語性」

小林 茂 (臨床心理士/牧師)

はじめに.

自分の権威のなさは認めるところだが、ある時に次のような出来事を経験した。前回の短信にも触れた話題であるが、私の住むえりも町では一時期までは北海道内で子どもの出生率が一番高い状態であった。それが近年になって急激に低下した。人口4,300人規模の町で、今しばらくは3歳児の数が13名前後と続く状況にある。こうしたこともあり、幼稚園者を立て直す計画を断念することになったわけである。ところがある時、学園の理事長に、とある有名な先生がえりも町の子ども数は減っておらず、若い人が働く場もあるから、私の話した状態ではないと否定したということであった。そんなこともあり、今度は理事長より私に私が学園に伝えた話と違うのではないかと問われたのであった。私自身は、えりも町に住所を置き、そこで園長の業務もこなしているのだから、えりも町の動向はわかっているつもりである。しかし、そこに住んで働いていない人の言葉が信用され、自分の言が疑われたことに不快に感じるとともに、そうした状況を作りだした要因は何であろうかと思案することになった。

こうした要因として行きついた話題が、今回の権威性の法則と物語性である。

1. 権威性の法則

この物語性の法則を知ったのは、まったくの偶然で、たまたま YouTube を流し観ていたから権威性の話題が話されていたことによる。権威性については、チャルディーニ, R. B. の著書『影響力の武器』において記されている。権威性とは、要は「権威のある人とか、専門家が言うこと、話すこと、行動することといった、一つひとつについて深く考えることなく人々が信用してしまう」ということである。具体的に権威は、以下のような要素で構成されている。

- ① 実績 … これまで取り組んだことや成果
- ② 肩書き … 国会議員、教授、社長など
- ③ 出版 … 著作物の有無や量や評価
- ④ 受賞歴 … 業績の評価
- ⑤ メディア歴 … テレビや新聞などへの露出度
- ⑥ 推薦 … 別の権威(者)からの紹介やつながり
- ⑦ 引用 … 別の権威(者)の利用
- ⑧ 見た目 … 美男美女、背格好が良い、など

私は①～⑧以外にも「パワー」という要素もあると考える。

こうした要素を持ち合わせることや駆使

できることが、すなわち権威がある者となるといえる。

そして、ひとたび権威を持つと、多くの人がある権威を深く考えることなく受け入れ、その人の言動が正しいと受け止められてしまうわけである。

2. 権威性の法則と物語性

しかし、権威性の法則だけで、人々が動かされるのだろうか、信用してしまうのだろうか。先ほど「パワー」という要素も権威の内に含まれるのではないかと指摘したが、権威性の法則が発動するためには、まだ別の要因があるように思う。それが「物語性」の有無である。

先に権威性を構成する要素を 8 つ紹介したが、これら自体は、個々の要素でしかない。世の中に①から⑧の要素を持つ人はたくさんいる。だが、そのすべてが強力な権威性を発揮しているわけではない。これらの要素が活きるためには、それが「語られる」ことが重要であると考え。たとえば、実績が積み上げられるまでの苦労話やサクセスストーリーといった、人が巻き込まれ、惹きつけられるようなものがないと、履歴書以上のものにはならないだろう。権威性のほかに、さらに特別なものを印象付けるものが物語性なのである。

しかし、ここでいう物語はナラティブの意味であって、ストーリーを指すものではない。ナラティブは単なる事実の時系列の羅列ではない。そこには意味を持たせた語りがあるのである。したがって、虚構も含まれる。そういう一面を持つ。

つまり、権威性の法則が活かされるためには、その権威性を活かすことができる、「虚構」も含めた「語り」が伴う必要があるとい

うのが私の主張である。

まとめ

権威性の法則は、今やマーケティングなどで広く意識され活用されている。インターネットなどでも、この権威性の法則が意識されているようである。私も観ることがある YouTube でも視聴回数を増やすためにも活用されている。こうした状況は今さら止めようがなく、権威性の法則によって人々が動かされてきた事実は変わらないように思う。

しかし、今回の執筆を思い立った出来事から権威性を思うとき、権威性は「事実に基づかない事柄」でも信用されて人々が動いてしまうということであった。

このことを思うと、どうであろうか。たとえば、何かを売り出したいと考えて権威性を悪用すれば、虚構の物語を仕立てることで権威性の法則を発動させることができるのではないか。このように思うのである。中身の無いものを、さぞ中身のあるものかのように物語り、その権威を作り上げていく。このようなことが起こっていないだろうか。

そのようなことを思いながら、中身のある権威が適切な形で重視されるようになってほしいと思う。